

住民が元気で働き、安心して住み続けることができる地域社会の再生のために、私たちは今、何ができるでしょうか。札幌一極集中と地方都市の疲弊・過疎化が進む中、北海道の豊かな自然や資源を生かした先進的で意欲的な取り組みに学ぶとともに、消費者と生産者、事業者、行政の連携と協働を考えます。

第55回北海道消費者大会

地域の再生と 持続可能な社会を 目指して

とき
ところ

平成30年 **9** 月 **7** 日 (金)

名寄市民文化センター

(名寄市西13条南4丁目)

エンレイ
EN-RAYホール

大会スケジュール

9:30～	受付 (ロビー展開始)
10:30～10:45	開会式
10:50～11:50	基調講演 「農業の力で地方を元気にする～なよろ星空雪見法蓮草～」 かんだファーム代表 神田 勇一郎 氏
11:50～13:00	休憩 (昼食) ～地元産の米、肉、野菜などを使ったおにぎり、豚汁を販売します～
13:00～14:45	パネルディスカッション 「地域と共に生きる喜びを語ろう」
14:45～15:00	大会宣言・閉会式

会場ロビーにて、名寄市や近隣市町村の特産品などを販売します

翌8日(土)に、近郊視察会を予定しています
※要予約、詳細裏面

主催 一般社団法人北海道消費者協会
後援 北海道

共催 名寄消費者協会、名寄市

基調講演

(10:50~11:50)

「農業の力で地方を元気にする～なよろ星空雪見法蓮草～」



【講師紹介】

かんだファーム代表 神田 勇一郎 氏

1980年、風連町（現・名寄市）の農家の3代目として生まれる。名寄農業高、タキイ研究農場付属園芸専門学校（滋賀県）を卒業後、2001年に就農。真冬に出荷する「星空雪見法蓮草」（ほしぞらゆきみほうれんそう）などユニークな商品が評判に。名寄市グリーンツーリズム推進協議会の代表も務め、消費者が参加する農業体験を実施している。

パネルディスカッション 「地域と共に生きる喜びを語ろう」

(13:00~14:45)

【パネリスト紹介】

NPO法人西興部村猟区管理協会
事務局長
伊吾田 順平 氏

横浜市生まれ。猟区制度を利用してエゾシカの地域主体資源管理に携わっている。自然体験学習の受け入れや、地元の子供たちのためのワイルドライフ教室などの環境教育のほか調査研究なども行っている。



名寄市長
加藤 剛士 氏

名寄市生まれ。2010年の名寄市長選で初当選。JRの路線見直し問題では、沿線自治体などでつくる宗谷本線活性化推進協議会の会長を務める。現在3期目。



ソーリー工房
山田 香織 氏 小松 佐知子 氏
下川町で自家製ハーブを使った化粧品の製造・販売を行う「ソーリー工房」を経営。山田氏は福島県、小松氏は岩手県出身で、2014年に二人で下川町へ移住。



かんだファーム代表
神田 勇一郎 氏



コーディネーター
名寄消費者協会会長
佐藤 靖 氏

《近郊視察会について》

大会翌日の9月8日（土）に、「森林未来都市」を掲げ、人と自然が共生するまちづくりに取り組む下川町をバスで巡るツアーを開催します。

- ・定員30名（先着順）で、事前申込みが必要。
- ・参加料（昼食代）1,500円

= 主な行程 =

集合（名寄グランドホテル藤花、8:45）後、バスで下川町へ。一の橋木質ボイラー、集住化住宅、ソーリー工房を見学し、町内のガーデニング・フォレスト「フレペ」にて昼食。名寄駅解散（14:00予定）。

《大会に関するお問い合わせ先》

一般社団法人北海道消費者協会
総務・組織連携グループ

TEL 011-221-4217 FAX 011-221-4219

または、お住まいの地域の消費者協会事務局へお問い合わせください。